

県内企業や工場 林経産相が視察 TPPなど意見交換

林幹雄経済産業相は二十三日、自動車部品製造のアイシン精機（刈谷市）など県内の企業や工場を視察した。昨年十月の環太平洋連携協定（TPP）の大筋合意を受け、各社の社長らと海外事業の拡大などについて意見を交換した。

アイシン精機のほかには、毛織物染色加工のソトー（一宮市）や陶磁器工芸メーカーの中外陶園（瀬戸市）な



ど四社を訪れた。繊維製品ではほとんどの品

アイシン精機の伊原社長（左）から説明を受ける林経産相（右）＝刈谷市朝日町の同社で

目で関税が即時撤廃されることから、ソトーの高岡幸郎社長が「グローバル展開に力を入れたい」との意欲を経産相に語った。

アイシン精機では、伊原保守社長らが会社の現況を説明したほか、自動変速機など同社製品の展示館を見学した。視察後、林経産相は「アイシン精機はトヨタ以外への売り上げが三割以上ある。TPPが動きだせば、事業拡大のチャンスになり勇気づけられた」と感想を語った。